

**令和7年国勢調査の広報に係る調査研究  
(中間報告概要)**

令和6年2月7日

アクセンチュア株式会社

# 広報実行における重点ポイント

● 効果的な広報実行に向けては、以下を重点ポイントとして取り組むことが必要と考える

1. 対象者を**判断基準・社会的価値観によって4層に分類し**、広報計画立案・広報実施にあたり、各層の特徴を意識する。また、メディア接点の違いからシニア層の存在も意識する
2. 各層ごとの**特徴を踏まえて、最適な訴求メディア・訴求内容・訴求表現の方向性および訴求タイミングを考える**。また、訴求タイミングについては、各層ごとの**情報感度（メディアへの接触の早さ・深さなど）にも留意する**
3. 広報の際は、**国勢調査の実施を「認知」してから「回答」に至るまでの「興味・内容理解」が促進されるように計画を立案し、実行する**
4. 上述の広報を実施するにあたっては、各層ごとに**広告内容の出し分けができるデジタル広告を効果的に活用する**
5. 目標数値や広報計画の前提となる仮説を意識しながら、**広報全体を一貫して統括・管理する**。また目標に対する進捗を管理し、対象者の反応を踏まえて**広報実施期間中にも施策の改善を加える**
6. 広報の際は、例えばキャンペーンサイトなど、**各施策の受け皿となり内容理解を促すメディアを用意する**。また、受け皿となるメディアにたどり着くように、**施策ごとの連動に留意する**